

# 帝國議會 貴族院議事速記錄第五號

第一分科主查 安立 綱之君 第二分科主查 子爵野村 益三君  
第三分科主查 子爵伊集院兼知君

大正七年一月九日(土曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第五號 大正七年一月九日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 徵兵令中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)  
(報告)

第三 舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル法律案(政

府提出)  
第一讀會ノ續(委員長)  
(報告)

第四 帝國在鄉軍人會國庫補助ノ請願

會議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

去ル四日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之

ヲ衆議院ニ送付セリ

大正六年勅令第二百二號(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

同日本院ニ於テ請願委員豊川良平君ノ補闕選舉ヲ行ヒシニ其ノ結果和田

維四郎君當選セリ

同日請願委員長ヨリ分科擔當委員ヲ左ノ如ク決定セル旨ノ報告書ヲ提出セ

リ

第三分科擔當 和田維四郎君

同日豫算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科主査 子爵前田 利定君 第二分科主査 男爵小澤 武雄君

第三分科主査 男爵高木 兼寛君 第四分科主査 男爵村上敬次郎君

第五分科主査 男爵武井 守正君 第六分科主査 子爵稻垣 太祥君

同日決算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

去ル六日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
徵兵令中改正法律案可決報告書

同日請願委員副委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第一號

一昨七日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 公爵近衛 文麿君 副委員長 岡 喜七郎君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル法律案可決報告書

請願文書表第三回報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

酒造稅法中改正法律案  
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案

麥酒稅法中改正法律案

戰時利得稅法案  
酒造稅法中改正法律案

所得稅法中改正法律案

戰時利得稅法案  
郵便法中改正法律案

自家用醬油稅法中改正法律案

砂糖消費稅法中改正法律案

清涼飲料稅法案

輸出菓子糖果原料砂糖戻稅法中改正法律案

織物消費稅法中改正法律案

石油消費稅法廢止法律案

通行稅法廢止法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、一昨七日本院議員宗像政君薨去ノ報ニ接シマシタ、誠ニ痛歎ノ至ニ堪ヘマセヌ、依ツテ弔詞ヲ贈リタイト存ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ

「異議ナシ」と呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、請願委員長報告、細川侯爵  
〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 請願委員會ノ御報告ヲ申上ゲマス、正副委員長ノ選舉、  
分科ノ決定、及分科擔當委員ノ選定、各分科主査ノ選舉ハ何レモ一月二十二  
日ニ行ヒマシタ、而シテ之ニ關シマスル詳細ナルコトハ、既ニ彙報ヲ以テ御  
承知ト存ジマシテ茲ニ省略イタシマス、委員會ハ二回、分科會ハ七回開キマ  
シタ、文書表ノ報告ガ三回、委員會ノ特別報告ガ一回デゴザイマス、請願書  
ノ受領件數ガ八十六件、二百一通デゴザイマス、同シク連署人名數ガ一萬九  
千五百二十九名デゴザイマス、審査ノ經過及結果ヲ申上ゲマスルト、八十二  
件、百九十六通ノ中院議ニ付スベシト議決イタシタモノガ一件、一通、院議  
ニ付スルヲ要セスト議決イタシタモノガ八件、十通デゴザイマス、審査未了  
ノモノガ七十三件百八十五通、尙ホ請願文書表ニ掲載イタシマセヌ件數ガ四  
件、通數ニ致シテ五通デゴザイマス、右御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 徵兵令中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、  
委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕  
徵兵令中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年二月六日

右特別委員長

伯爵林 博 太 郎

〔貴族院議長公爵德川家達殿  
伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 徵兵令中改正法律案ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報告ニ及  
ビマス、此特別委員會ハ前後八回會議ヲ致シマシテ、十分ニ審議ヲ凝ラシマ  
シタ次第デ、既ニ御手許ニ速記録モ上ガッテ居リマスカラ、十分ニ御熟讀ニ  
ナッタコト考ヘマスニ依ッテ、私ハ簡単ニ其重要ナル事項ニ付キマシテ御報

告ヲ致スコトニ止メテ置キマス、此改正案ハ趣旨トスル所ガ、徵兵必任義務  
ノ精神ヲ貫徹シ、而シテ其義務ノ均等ヲ出來得ル限り圖ルト云フ點ガ、即チ  
重大ナル所デゴザイマス、今迄ハ徵兵ヲ猶豫スル制度ニナツテ居リマシタ、即  
チ丁年ニ達シテモ願ヲ出セバ検査ヲ受ケズシテ之ヲ猶豫スルコトガ出來タノ  
デアリマスガ、今回ハ之ヲ改正シ猶豫ヲ改メテ延期ノ制度ニ致シマシタ、丁  
年ニ達スレバ悉ク身體検査ヲ行ッテ、而シテ之ニ合格シタル者ハ徵兵ニ取ル、  
又中學以上ノ學校ニ於テ將來學術ヲ勉強スル所ノ者ニ對シマシテハ、二十七  
歳ヲ最長限度ト致シマシテ延期ヲ許スコトニ致シマシタノデアリマス、而シ  
テ現在ノ所デハ願ヲ出シテ而シテ籍ダケヲ中等學校以上ニ置イテ置ケバ徵兵  
ガ猶豫サレタノデアリマシテ、狡猾ナル學生ハ之ヲ利用スルヤウナ弊ガアリ  
マシタガ、之ヲ出來ルダケ矯メル精神ヲ汲ミマシテ改正ヲスルコトニナリマ  
シタ、其當該學校ノ卒業ノ時期ヲ參酌イタシマシテ、而シテ之ヲ延期スル時  
期ヲ定メタノデゴザイマス、勿論甲ノ學校ヨリ乙ノ學校へ轉學等ヲ爲ス際ニ  
於テ、若干ノ空隙ヲ生ズルコトガアル、其際ハ今迄通リ學生ノ將來ノ修業ニ  
妨ナキ範圍内ニ於テ、文部省ニ於テ其便宜ヲ圖ルト云フコトヲ以テ、其聯絡  
ヲ矢張リ付ケルコトニ致シテゴザイマス、而シテ此二十七歳ヲ最長限度ト致  
シマシタコトニ付キマシテ相當ノ議論ガゴザイマシタ、即チ我ガ日本ノ學生  
ノ中ニ於キマシテ、最モ長キ時期ヲ要スルノガ、帝國大學ノ醫科大學ノ卒業  
期デアリマシテ、是ガ年ニ依ルト現ニ二十七歳以上ニナツテ居ル場合ガアリ  
マス、即チ現在ニ於テモ二十三名バカリハ或ハ二十七歳以上ニナリハシナイ  
カト云フ虞ガアルノデゴザイマスガ、御承知ノ如ク臨時教育會議等ニ於テ、  
將來ハ七年中學ガ實行サレルコトニナリ、即チ大學ニ這入ル迄ノ時期ガ短縮  
セラレルコトガ一ツアリマスルノト、日本ノ學生ノ卒業ノ時期ガ帝國大學ニ  
於テモ年々若クナルト云フ傾向ヲ持ッテ居ルト云フノガニツ、更ニ又此法令  
ヲ實行スル迄ニハ相當ノ時期ヲ要スルノデアリマスカラ、其期間ニ於テ是等  
ノ不都合ハ除カレルト云フコトニナリマスルノデ、二十七歳ト云フコトモ相  
談ガ會議デ纏マッタ次第デゴザイマス、次ニ此改正案ノ骨子トモ云フベキ問  
題ガゴザイマシテ、ソレハ即チ此尋常師範學校ノ卒業生ガ現在ニ於テハ六  
週間現役ニ止マツテ居ルノデアッテ、是デハ軍隊精神ヲ普及スル上ニ於キマシ  
テ誠ニ不十分デアル、一ハ必任義務ノ精神ヲ貫徹スルト共ニ、軍隊精神ノ一

ゴザイマス、之ニ付テモ相當ノ議論ガゴザイマシタ、六週間現役ト云フノヲ一箇年ニ延バスト云フコトハ、九倍ノ日時ヲ俄ニ殖ヤスト云フコトニナリマシテ、是ハ急激ナル變化ヲ及ボスコトニナル、其負擔タルヤ頗ル重大ナモノニナツテ來タノデゴザイマス、即チ師範學校ノ卒業生ハ、其卒業後ニ於キマシテハ、我が帝國ノ小國民ヲ教育スル所ノ重大ナル義務ヲ持ツテ居ル、而カモ此義務ニ附加スルニ更ニ一年ノ現役兵ト云フモノヲ以テスルト云フコトハ、或ル意味ニ於テハ二重ニ重大ナル義務ヲ負ハスルコトニナルノデアリマス、併ナガラ軍隊精神ト云フモノヲ普及スルノニハ、決シテ六週間ヲ以テ足レリトナスコトハ出來ナイノデアル、少クモ今日ノ進ンダ所ノ軍人精神ヲ教ヘ軍隊精神ヲ一貫スル上ニ於キマシテハ、ドウシテモ一箇年ト云フモノハ之ニ要スルノデアルト云フコトニ落著イタシマシテ、是モ六週間ヲ一年ニ改メルト云フコトガ穩當デアルト云フコトニ極マリマシタ次第ゴザイマス、デ今迄ハ六週間ノ現役ニ對シマシテ其期間俸給ヲ全部仕拂ッテ居リマシタガ、今回ハ即チ一箇年ニ改マルノデアリマシテ、其期間全部ノ俸給ヲ支拂フ必要モナイノデアツテ、從ツテ之ニ對シマシテハ凡ソ八割ノ俸給ヲ支給スルコトトシテ、其之ニ要スル所ノ費用ノ五十八萬圓内外ト云フモノハ之ヲ支辨スルコトニ内閣ノ閣議ニ於テ定マッタ次第デアリマス、此支辨ノ方法ガ極ツタ以上ニ於キマシテ、軍隊精神ノ普及ノ必要ヲ認メ、同時ニ軍人精神ガ十分ニ師範學校生徒ニ貫徹シテ、其精神ヲ以テ小國民ヲ養成スルト云フコトニナリマシタラ頗ル有利ナル所ノコトニナルノデアリマシテ、其點ヲ審議ノ上、矢張リ原案通りニ可決イタシマシタ次第ゴザイマス、尙ホ此猶豫ノコトニ付キマシテ海外ニ居住スル所ノ者ニ付テノ規程モ改マッタ次第ゴザイマス、即チ歐米ニ居ル所ノ者ハ從來ハ三十二歳迄ゴザイマシタノヲ、五年後備ト云フコトガ今度十年後備ニ改マリマシタ結果ト致シマシテ、三十七歳マデ之ヲ延期スルコトニ定メタノデゴザイマス、支那デアルトカ、露領沿海州デアルトカ云フ方面ノ移住者ニ對シマシテ此規定ヲ適用シマセヌノハ、徵兵忌避ト云フコトノ爲ニ容易ク此方面ニハ移住ガ出來マスルノデゴザイマスカラ、ソレ等ノ點ヲ參酌イタシマシテ、此方面ヘハ之ヲ許可シナイ所ノ方法ヲ講ジタノデゴザイマス、尙ホ此歐米ニ行ク者ニ付キマシテモ二十歳ノ時ニ於テハ徵兵ノ検査ヲ致シマシテ、其丁年ヲ越エマシタ者ハ、服役ヲシマセヌケレバ之ニ行クコトヲ許サナイヤウニ致シマシテ、是モ必任義務ノ均等ヲ圖ル上ニ於キマシテ、

十分ニ考慮イタシマシタ次第ゴザイマス、以上三點ハ此改正案ニ付キマシテ最モ重大ナル點ゴザイマス、是等ニ付キマシテ八回、十分ニ審議ヲ凝ラシマシテ、慎重審議ノ結果全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第ゴザイマス、尙ホ本案ニ付キマシテ希望ガ二三出テ居リマス、ソレヲ簡単ニ申上グテ見マスレバ、大要次ノ如クデゴザイマス、一年志願兵並ニ現役兵ト云フモノノ入營ノ時期ヲ十二月ト云フコトハ頗ル學生ノ爲ニ不便ナ時期デアルカラ、之ヲ出來ルダケ春期ニスルヤウニ改メテ貴ヒタイ、第二ニハ此一年志願兵ノ教育ト云フモノニ對シマシテハ成ルベク現役中ニ之ヲ完全ニ終了スルト云フヤウニシテ貴ヒタイ、若シ必要已ムヲ得ザル場合ニ際シマシテ、豫備教育ニ於テ更ニ學術技能ヲ授ケル必要ガアリマス際ニ於テハ、出來ルダケ之ヲ短縮スル方法ヲ考慮アラムコトヲ望ムト云フコトガ第二ゴザイマス、第三ニハ云スルコトガ穩當デアルト云フコトニ極マリマシタ次第ゴザイマス、デ今迄ハ六週間ノ現役ニ對シマシテ其期間俸給ヲ全部仕拂ッテ居リマシタガ、今回ハ即チ一箇年ニ改マルノデアリマシテ、其期間全部ノ俸給ヲ支拂フ必要モナイノデアツテ、從ツテ之ニ對シマシテハ凡ソ八割ノ俸給ヲ支給スルコトトシテ、其之ニ要スル所ノ費用ノ五十八萬圓内外ト云フモノハ之ヲ支辨スルコトニ内閣ノ閣議ニ於テ定マッタ次第デアリマス、此支辨ノ方法ガ極ツタ以上ニ於キマシテ、軍隊精神ノ普及ノ必要ヲ認メ、同時ニ軍人精神ガ十分ニ師範學校生徒ニ貫徹シテ、其精神ヲ以テ小國民ヲ養成スルト云フコトニナリマシタラ頗ル有利ナル所ノコトニナルノデアリマシテ、其點ヲ審議ノ上、矢張リ原案通りニ可決イタシマシタ次第ゴザイマス、尙ホ此猶豫ノコトニ付キマシテ海外ニ居住スル所ノ者ニ付テノ規程モ改マッタ次第ゴザイマス、政府ハ出來ルダケ之ニ對シテ考ヘルンデアルカラ、ソレハ此徵兵令ト關聯シテ十分ニ詮議アラムコトヲ望ムト云フコトデゴザイマス、大要以上ノ三ツガ希望ト致シニハ之ヲ動員シ得ル所ノ方法ヲ講ジタナラバ、海軍ノ將來ニ取リマシテモ頗ル有益ナルコトト考ヘルンデアルカラ、此徵兵令ト關聯シテ十分ニ詮議アラムコトヲ望ムト云フコトデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ此希望ヲ申述ベタ次第ゴザイマス、政府ハ出來ルダケ之ニ對シテ考慮スルト云フ御答ガアツタノデゴザイマス、徵兵令改正法律案ニ付キマシテノ要領ハ、大略右ノ通りゴザイマス、特別委員會ニ於キマシテモ十分審議ノ結果之ヲ可決イタシマシタ次第ゴザイマスカラ、本議場ニ於キマシテモ十分御審議ノ上、委員會ノ通リニ可決アラムコトヲ希望イタシマス、是ニテ報告ヲ終リマス

○國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〔發言ノ許可ヲ求ムル者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 海軍大臣カラ發言ノ通告ガゴサイマシタ、海軍大臣

臣

考ニナラウカト考ヘルノデゴザイマス、實ハ徵兵令ノ委員會ニ私ガ出席ヲ致

シマスル機會ヲ得マセヌノデゴザイマシタノデ、常ニ政府委員ヲ以テ御質問其他ニ應答ヲ致サセテ居リマシタ、十分私共ノ考ヘテ居リマス所ノ意思ヲ申上ゲル機會ヲ得マセヌカッタコトハ誠ニ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマス、唯今ノ下級船員ニ關スル問題ニ付キマシテモ、委員會ニ於キマシテ政府委員ガ十分ニ、我シノ考ヘテ居リマス意思ヲ申上ゲ得ナカッタコトモ亦甚ダ遺憾ニ存ズルノデゴザイマス、故ニ此機會ニ於キマシテ、私ハ此問題ニ付テ海軍當局トシテ考ヘテ居リマスル所ヲ一言シテ置キタイト存ズルノデゴザイマス、御希望ノ御趣旨ハ、即チ船舶ニ乗組ムベキ下級船員ニ對シテ、平時ヨリ之ヲ兵籍ニ編入シテ、有事ノ際ニハ船舶乗員トシテ、又海軍トシテハ相當軍事行動ニ對シ之ヲ使用イタサスト云フノガ御趣旨デアラウト存ズルノデアリマス、當局ノ考ヘマスルニハ、アノ多數ノ下級船員全部ヲ、平時ヨリ兵籍ニ編入イタシテ、戰時ニハ之ガ召集ヲ免レルト云フガ如キ法規ヲ設ケテ置ク必要ハ感知マセヌノデゴザイマス、御承知ノ如ク戰時ニ船舶ノ船員ガ必要デアルト云フコトハ申ス迄モナイコトデゴザイマス、陸海軍ニ於キマシテハ多數ノ船舶ヲ徵集イタシマシテ、其船員ト共ニ運送船其他ノ任務ニ就カセマスル、又其貿易ニ關シマシテモ多數ノ船舶ガ之ニ從事イタスコトモ必要デアルコトモ申スマデモナイコトデゴザイマス、從ツテ是等船舶ニ乗込ミマス下級船員ハ、戰時ニ於キマシテモ其固有ノ船員タル業務ニ服サセマスコトノ必要ナルコトハ、是亦申スマデモナイコトデゴザイマス、併ナガラ是等ノ船員ガ戰時ニ、船舶ノ固有ノ業務ニ服スルコトノ必要ノアリマスル場合ニハ、是等ノ船員ハ、是亦申スマデモナイコトデゴザイマス、併ナガラ是等ノ船員ガ戰時ニ、船舶ノ固有ノ業務ニ服スルコトノ必要ナルコトハ、現在ノ規定デハ不召集ヲ免ル、途ハ今日ニ於テモ開イテ居ルノデアリマス、平時ヨリ之ヲ編入シテ置カナクテモ、彼等ガ船員トシテ働きマス所ノ妨ニナルコトハ何等ナイノデゴザイマス、又海軍ト致シマシテ、船員ガ全部兵籍ニ編入シテアリマセヌ、又之ヲ漏レナク致スト云フコトハ容易ノ業デナイト考ヘマス、假ニ其スト戰時ニ於テ困ルト云フヤウナコトハアルマイト考ヘテ居リマス、勿論多少ノ船員ハ戰時ニ海軍ガ之ヲ使用イタシマスト云フコトハ今日ニ於テ居リマス、併ナガラ其全部ヲ兵籍ニ編入イタシテ置カナケレバ戰時ニ困ルト云フガ如キ計畫ハ今日ニ於テ持ツテ居リマセヌノデゴザイマス、勿論是等船員ヲ兵籍ニ編入シテ置キタイト云フ御趣旨ハ一應理由ノアルコトト考ヘテハ居リマス、併ナガラ前申上ゲマスル通リニ、是ガ船員トシテ必要デアル場合ニ之ヲ召集シナイ途サヘ開イテ居レバ何等困ルコトハナイト考ヘテ居リマス、戰時ニハ御承知ノ如ク、官私立ノ工場ニ於キマシテハ多數ノ軍需品

ヲ製造イタサナクテハナラナイ、是等軍需品ノ製造ニ從事イタシマス職工ハ亦戰時ニ於テ召集イタサナイヤウニ途ガ今日開イテ居ルノデゴザイマス、是亦若シ戰時必要デアルト云フコトデアリマスナラバ、矢張リ平時カラ兵籍ニ編入イタシテ置カナクチヤナラヌト云フ議論モ一方ニ於テハ立ツト考ヘマス、右様ナ次第デゴザイマスルカラ、平時ヨリ船員ヲ兵籍ニ編入イタシテ置カナクチヤナラヌト云フ必要ハ當局ハ今日ハ認メテ居リマセヌノデアリマス、假ニ之ヲ必要アリト致シマシテ、海軍當局ガ平時ニ是等ノ多數船員ニ海軍ノ軍事教育ヲ施スト云フコトニナリマスト云フト實行上ニ於テハ非常ナ困難ヲ感ジマス、御承知ノ如ク現在ニ於キマシテハ、東京ノ商船學校、地方ノ商船學校、是等ヲ卒業イタシマシタ者ハ海軍豫備員ニ致スト云フコトニナッテ居リマス、東京ノ商船學校ヲ卒業イタシマスル者ハ海軍ニ於テ若干月間軍事教育ヲ施シテ居リマセヌ、併ナガラ是ガ卒業イタシマス場合ニ下士官ナツテ、地方ノ商船學校ヲ卒業イタシマシタ者ハ、現在ノ規定ニ於キマシテハ軍事教育ハ施シテ居リマセヌ、併ナガラ是等ノ船員ガ戰時ニ、是等ガ戰時ニ於キマシテ海軍ノ豫備員トナリマスル場合ニ海軍ノ高等官ノ豫備員トナツテ、地方ノ商船學校ヲ卒業イタシマシタ者ハ、現在ノ規定ニ於キマシテトシテ豫備員ト云フモノニナツテ居リマス、此豫備員ニハ今日ノ規定デハ不備ヲ感ジテ居リマス、ドウカ或ル規定ヲ設ケ、或ル方法ヲ講ジテ是ニ相當ノ軍事教育ヲ施スト云フ道ヲ明ケタイト云フ考デ、唯今折角詮議イタシテ居ルノデ、是等ガ戰時ニ於キマシテ海軍ノ豫備員ト致シマシテ、後方ノ勤務等ニ服サセル考ヘデ居ルノデ、數萬ニ瓦ル下級船員ヲ平時海軍ノ海兵團ニ入レテ、是ニ若干月間軍事教育ヲ施スト云フコトハ、現在ノ設備ニ於テハ無論出來マシテハ、是ガ監督ニ付テモ成案ハ持チマセヌノデアリマス、御趣旨ハ一應教育ガ出來タト致シテモ、是ガ船員トシテ各其業務ニ復歸イタシマス場合ニ、海軍當局ガ是ニ多少ノ監督ヲ加ヘル必要ガアルト考ヘマスルガ、今日ニ於キマシテハ、是ガ監督ニ付テモ成案ハ持チマセヌノデアリマス、御趣旨ハ一應御尤ト考ヘテ居リマス、併ナガラ實際ニ於キマシテハ、斯ノ如キ必要ヲ今日ニ於テ感ジテ居リマセヌト云フコトヲ此機會ニ於テ御参考マデニ申上ゲテ置クノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵……

○子爵前田利定君 マダ發言イタシマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ハ質問ヲナサリタイトカ云フ……

○子爵前田利定君 唯今イタシテ宜シウゴザイマスカ、私ハ質問シタイト考

ヘテ居リマシタ、本員ガ御尋イタサウト存ジマシタ部分ニ付キマシテ、唯今海軍大臣カラ御説明デアリマシタ故ニ質問ハ致シマセヌガ、唯今ノ希望決議ニ付キマシテハ反対ノ考ヲ持ツテ居リマス、故ニ徵兵令中改正法律案ノ實體ニ付キマシテノ御質問御議論ガ濟ミマシタ後デ反対ノ所見ヲ申述ベタイト存ジマス、適當ナル時機ニ御示ヲ願ヒタウ存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 前田子爵ハ意見ヲ御述べニナリタイ……

○子爵前田利定君 左様デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス、江木千之君

○江木千之君 本員ハ此改正案ニ賛成ノ趣意ヲ簡單ニ申述ベマシテ、併セテ改正數箇條ノ一箇條ニ付テ、軍部當局ノ言明ヲ得タイト考ヘルノデアリマス、此徵兵令ノ改正ハ要スルニ……

○議長(公爵徳川家達君) 江木君ニ伺ヒマスガ、本案ニ付テ賛成ノ意見ヲ御述ベニナリタイト云フノデアリマスカ

○江木千之君 左様デス、併セテ軍部……

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ古賀君ガ質問ヲナサリタイヤウナ御様子デアリマスカラ、其方ヲ先ニ致シマセウ、古賀廉造君

○古賀廉造君 陸軍當局者ニ質問イタシタイ、本案ノ第十四條ノ現行法ノ六週間現役ヲ改メテ一年間現役兵トナサレタノハ誠ニ時弊ヲ救濟スル必要ノ改正案ト見テ、軍事教育ノ目的ヲ貫徹スルニハ斯クナクテハ相濟ムマイト思ヒマス、然ルニ此一年現役兵ヲ終ッタ者ヲ直チニ第一國民兵ニセシムルト云フコトニナッテ居リマス、六週間ノ現役兵モ矢張リ終ッタ後ニ國民兵ニ編入スルト云フコトニナッテ居ルト思フ、其點ニ付テハ御改正ノコトニナッテ居ラヌト思フ、既ニ六週間現役デハ軍事教育ノ目的ヲ達スルヨトハ出來ナイノデアル、隨ツテ之ヲ一年現役兵ニシテ軍事教育ノ趣旨ヲ達シヤウト云フ御考デアルナラバ、モウ一層進ンデ何故ニ此兵役ヲ終ッタ後ニ、一年志願ト同ジク豫備後備ノ方ニ編入スルコトニ御改メナカッタノデアルカ、尙ホ直チニ國民兵ニセシムルト云フ現行法ノ儘ニ置カレタノデアリマスカ、豫備後備ニ編入セシムルノト、國民兵ニ編入セシムルトハ、ドウモ結果ニ於テ非常ナ違ヒガアルカト思フ、假令一年現役兵ヲ務メテモ、其後ニ於テ何等ノ復習モシナイトキニハ、其一年現役兵ト云フ者ハ遂ニ軍事教育ノコトハスカリ忘レテシマッテ、六週間現役兵ト同ジ結果ニナル、豫備後備ノ役ニ就イタレバコソ屢々復習シ

テ軍事教育ノ思想ヲ常ニ發展スルコトニ相成ル、ソレヲ抛ツテシマッテ、直グニ國民兵ニ入レルト云フコトハ、一年現役兵ニ御改正ニナツタ趣意ハ貫徹スルコトニイカヌヤウニ思フ、ソレヲ伺ヒマス次第デアリマスガ、一應御説明ヲ願ヒタインデアリマス

#### 〔國務大臣大島健一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大島健一君) 古賀君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、從來ノ六週間現役兵ヲ改メテ、一年現役兵トシ、一年現役兵ノ終ッタ者ヲ國民軍ニ依然入レテ置クノハ改正が半途デハナイカ、之ヲ一年志願兵ト同ジク豫後備役ニ置カレタナラバ、其後ノ勤務演習ニ依ツテ、常ニ軍事教育ヲ新ニスルコトガ出來テ、國民……小國民ノ教育ノ上ニ利益デハナイカ、斯ウ云フ御議論ノヤウデゴザイマス、其點ハ考ヘマシタ、併シ此教員ハ二十八迄ヲ奉職義務ノ年限トシテアリマス、ソレデ師範學校ヲ卒業シテ、先ヅ其二十八ニ至ル間ニ於テ一年間ノ教育ヲ致シマスレバ、軍隊普通ノコトハ無論、尙ホ一年志願兵ト同ジク將校ニナレルダケノ程度ノ軍事教育ヲ受ケ得ル、此教育ヲ新ニ受ケタ者ガ二十八迄ハ其義務年限ヲ復興ヲスル、其者ヲ最初一年第一國民兵トシテ置クケレドモ、若シツレガ一年志願兵ト同ジク豫後備ノ將校ニナル希望ヲ有チャスレバ、二十八以後ニ於テモ一年志願兵ト同ジク二回ノ勤務演習ヲ行ハシテ將校ニスル、斯ウ云フ立前ニ致ス積リデアリマス、ソレデ教育ヲ一年志願兵ト同ジク十分ニ致シ、尙ホ豫後備ニシタラドウカト云フ御考ノ點ハ實行ノ出来ルヤウニナッテ居リマス、ソレヲ今御考ノヤウニシマセヌデアッタト云フノハ、二十八迄ノ義務年限ト云フモノハ餘リ長イモノデハアリマセヌ、二十三ニ卒業ヲシテ一年間隊ニ附イテ、ソレカラ學校ノ教職ニ就クトシマスルト、四年間シカ義務ノ年限ガナイ、ノミナラズ其間ニ於テ三箇月二回六箇月ノ勤務演習ヲシマシテ、一方ハ三年半ニナルケレドモ、是ハ忍ブトシマシテモ、一旦將校ニ、ソレハサウナリマスト爲ル譯デアル、一年志願兵ノ少尉ト云フモノ、是ガ一旦將校トナッタ以上ハ二十八以前ニ於テ教職ヲ去ツテモガ既ニ將校トナッタモノデアリマス、ソレデ兵役ヲ終ルコトニナリマス、官費デ一年志願兵ニシテ、ソレガ約束ノ年限ヲ踏マズニ去レバ、教職ヲ去レバ、ソレデ兵役ガ終ツテ仕舞フト云フヤウナコトニナリマス、其二十八迄ハ義務ノ教職ニ在ル年限ガ餘リ短クナルカラ、先ヅ是ハ一年現役ノ儘置ク、尙ホ終身教職ニ服スルト云フヤウナ人ハ、二十八ノ期限ヲ終ッタ後ニ勤務演習ヲシテ將校ニ

スル、又ソレガ丁度教育ノ分配トシマシテモ、卒業シテ暫ク經<sup>フ</sup>テ後長ク教職ニ居ル人ハ再び勤務演習ヲシテ新ニ教育ヲ受ケテ、長ク教職ニ從事スルト云フコトニナ<sup>ツ</sup>テ其方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考デ唯今ノヤウナ規定ニナリマシタノデアリマス、御問ヒノ點ハソレダケト思ヒマス

○古賀廉造君 尚ホ續イテ質問ヲ致シタイ、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 何デスカ

○古賀廉造君 マダ質問シタイ……

○議長(公爵徳川家達君) 宜ジウゴザイマス

○古賀廉造君 今ノ陸軍大臣ノ御説明ニ依ルト一年現役兵ヲ終<sup>フ</sup>テ、二十八ニナ<sup>ツ</sup>タ後ニ志願ノ者ハ豫備後備ニスルト云フ御趣意デアリマスカ、ソコガチヨフト分リ兼ネマシタ

〔國務大臣大島健一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大島健一君) 義務ノ年限ヲ二十八デ終リマシテ、其以後ニ於テ豫後備ノ將校トナル希望ヲ有スル者ハ、二十八年以後ニ於テ各、三箇月ノ勤務演習ヲ終<sup>フ</sup>テ、ソレデ將校ノ能力ノアル者ハ將校ニシヤウ、斯ウ云フコトデゴザイマス、一方ハソレデ此古賀君ノ仰セノ如ク之ヲ戰時ノ將校タル用意ニ充テ得ルコト、又一方ニハ同ジク一年ノ現役兵ヲ終<sup>フ</sup>タ者ト一年志願兵ト何等變ハル所ノナイモノデアルカラ、之ニ將校タルノ名譽ヲ持タセルコトガ教育上ニモ宜シカラウト云フ考デ、斯ウ云フ規定ニナ<sup>ツ</sup>テ居リマス

○男爵伊東義五郎君 海軍大臣ノ唯今ノ御説明ニ對シマシテ、御質問イタシタウゴザイマスガ、海軍大臣ノ唯今ノ御説明ニ依リマスルト、此商船ニ乘<sup>フ</sup>テ居ル所ノ下級海員ヲ海軍ノ兵籍ニ入レルト云フコトハ、到底今日ニ於テハ出來ナイノデアル、又ソレニ對シテハ今日ノ狀態デ何等差支ナイコトト認メラレテ居ルヤウニ御説明ヲ承知イタシマシタ、然ルニ此今日一方ニ於テハ徵兵令ノ改正ヲ斷行イタシマシテ、舉國皆兵ノ實ヲ舉ゲル、其際ニ於キマシテ商船ニ乗込ム所ノ下級海員ト云フモノハ、如何ナル狀態デアルカト云フコトヲ見マスルト、是ハ年齢十七歳ニ達シマスレバ、適當ト見ラレルトキニハ海員ガ出來ルヤウニナル、而シテ其海員ト云フモノハ今日ドウ云フ狀態デアルカト申セバ、甚ダ遺憾ナルコトデゴザイマスガ、今日我通商ノ發展、所謂海上運輸ノ發展ヲ圖ル時期ニ於キマシテ、其海員ナルモノノ志願者ハ減ズルト

云フ狀態デアル、是ハドウ云フ所カラ來タカト申セバ、下級船員ノ水火夫デゴザイマスカラ、海ノ上デサウ云フ下級ノ地位ニ居<sup>フ</sup>テ仕事ヲスルヨリ、寧ロ今日ハ職工ニデモナ<sup>ツ</sup>タ方ガ自分ノ便利ト考ヘマス、故ニサウ云フコトニナルノデゴザイマス、一方ニハ徵兵ノ爲ニ召集サレテ參ルモノガゴザイマスト云フヤウナ狀態デ、此海員ヲ得ルト云フコトハ洵ニ困難ノ今日デアルト云フコトヲ承知シテ居リマス、一方ソレナラバ今度ハ戰時ノコトヲ考ヘテ見マスト、戰時ニ於キマシテハ此商船ノ大部分ハ海陸軍ニ徵發セラレマス、サウシテソレニ徵發シタ時ニ、其所謂海員ナルモノハ、所謂ドウモ服役令ト云フヤウナモノデ他ノ人ヲ以テ代フルコトノ出來ナイモノデ其儘ニシテ置クト云フ御趣意ノ下デ、戰時ニ何モ義務ヲ有タナイ海員ヲ其令デ以テ乗込マシテ居ル、斯ウ云フヤウナコトニ今日ハナ<sup>ツ</sup>テ居ル、而シテソレナラバ免ニ角戰時徵發サレタル船ニ乘<sup>フ</sup>テ居ル海員ハ差支ナイト見タ所デ、ソレナラバ一朝缺員ヲ生ジタ場合ハ如何デアルカト見マスルト、此時ニ其船員ヲ補フコトガ出來ルヤウニナ<sup>ツ</sup>テ居ラナイ、而カモ今日ハ昔日ト違ヒマシテ、此潛航艇及諸種ノ機械水雷等モ出來マシテ、ナカ<sup>ク</sup>今日ノ海戰ニハ擊沈サレル場合モ多シ、非常ニ船員ヲ失フト云フコトハ、是ハ今日ノ海戰ノ實況デ明カデゴザイマス、ドウシテモ此補充ノ人ト云フモノハ、十分ニ研究シテ置カナケレバナラヌ今日デアル、ソレカラ一方又海軍大臣ハ此職工ノコトト海員ノコトト比較セラレマシテ、職工ナドハ將來ハ所謂工業動員ト云フコトモサレナケレバナラズ職工ノコトナドニモ論及セラレマシタガ、此職工ナドト云フモノハ全ク此海員トハ別物デアリマス、海員ハ、海軍大臣モ御承知デゴザイマスガ、一朝一夕ニ出來ルモノデハゴザイマセヌ、之ヲ其職工ナドト同ジャウニ戰時ノ制裁ノ下ニ置カレルト云フコトハ是ハ大變間違<sup>フ</sup>タコトト考ヘル、ソレデ又一方此海軍ノ兵籍ニ入レルト云フコトハ、ナカ<sup>ク</sup>今日ノ場合ハ出來ナイト云ハレル……

○議長(公爵徳川家達君) 伊東男爵ニ御注意イタシマスガ……

○男爵伊東義五郎君 ハイ是カラ質問ヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 御質問デゴザイマスカ

○男爵伊東義五郎君 質問ノ趣意ヲ……到底之ニ海軍ノ教育ヲ與ヘルト云フコトハ不可能ノヤウニ申サレマスケレドモ、然モ此今日商船ニ乗込ム所ノ下級船員ト云フモノハ、唯今申上ゲタヤウナル平時ニ於テハ狀態デアリ、戰時

ニ於テモ益是ハ十分ニ補充ノ途ヲ講ジテ置カナケレバナラヌ必要ナ時ニハ、ドウシテモ今日此徵兵令ヲ改正サレル一方ニ舉國皆兵ノ實ヲ擧ゲル一ノ缺陷ノナイヤウニ之ヲ十分ニシナケレバナラナイ時期ト私ハ考ヘマス爲ニ、海軍大臣ニ御質問ヲシマスルハ、此平時ニ於キマシテ商船ノ下級海員ヲ充タシテ行クニ不都合ナク、之ガ滅ズルト云フヤウナ憂ガナイコトニハ、ドウ云フ手段ヲ採ツテ行カレマスカ、又戰時ニ於テ之ヲ海軍ノ兵籍ニ入レナイ以上、其補充ノ途ハ如何ナル手段デセラレマスカ、私共ハ此船員ノ……下級船員ノ豫備員ト云フモノガ出來テ居リマシタナラバ、是ハ又實ニ將來海軍ノ爲ニモナリハシナイカト考ヘマスルカラシテ、ドウシテモ此處デハ此事ハ御致究ニナラナケレバナラヌ時期ト考ヘマスガ、今日其致究ヲナサラズトモ戰時ニ差支ナイト云フ御確信ノアル所ヲ伺ツテ置キタイ次第デアリマス

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（加藤友三郎君）伊東男爵ヨリ色ニノ必要ナル御理由モ拜聴イタシマシタガ、要スルニ男爵ノ御意見ハ、今日下級船員ヲ得ルコトガ困難デアル、故ニ之ヲ兵籍ニ編入シテ、或ル意味ニ於テハ獎勵ト云フガ如キ裏面ニ意味ヲ御含ミニナッテ居ルヤウニ察セラル、ノデアリマス、下級船員ヲ今日得ルコトノ困難ナルコトハ、度々聞イテ居リマス、併ナガラ此獎勵法ハ必シモ彼等ヲ兵籍ニ編入シナケレバナラヌ理由ニハナラヌト思ヒマス、獎勵法ハ別ニ法ヲ設ケレハ、ソレデ差支アルマイト考ヘル、又元來今回徵兵令改正ノ趣旨モ、所謂國民皆兵主義ト云フコトガ根本ノ方針ニナッテ居ル、此兵ト云フコトノ中ニハ海軍兵モ含ンデ居ルノデアリマス、單ニ陸軍ノ兵ノミデハナイノデアリマス、若シ此下級船員ヲ兵籍ニ編入イタスト云フコトニナリマスレバ、此船員ナルモノハ徵兵カラ免レルト云フコトニナル、甚ダ面白カラザルコトヲ申スヤウデハアリマスケレドモ、船員トナツテ徵兵ヲ忌避スルト云フ弊害ガ生ズルコトモアリ得ベカラザルコトデハナイト思ヒマス、是等ハ最モ避ケナケレバナラナイ問題デハナイカト考ヘテ居リマス、又補充ノ問題ニ付テ頻ニ御意見ガアリマシタガ、補充ト云フコトハ單ニ此船員ノミデハナイノデ、職工ト比較スルト比較ニナラヌト云フ御意見ガアリマスガ、職工ニ於テモ補充ニ困難ヲシテ居ル、總テ下級ノ者ノ補充ハ船員タルト職工タルト其他タルトヲ問ハス、總テ困難ヲシテ居リマス、是ハ別ニ方法ヲ講ズルノ外ナイト考ヘマス、必シモ之ガ爲ニ下級船員全部ヲ兵籍ニ編入シナケレバナラヌ必

モゴザイマシタガ、是ハ私ハ比較シタノデナイ、職工ニモスノ如キ意見ガ出得ル餘地ガアルト云フコトヲ御参考ニ申上グタニ過ギナイノデ、又戰時ニ於テハ是等ヲ兵籍ニ編入シテ置ケバ海軍デハ非常ニ必要デアラウト云フ御意見デアリマスガ、私ハ斯ノ如ク考ヘマセヌ、普通船舶多數ヲ陸海軍ニ徵發イタシテ之ヲ使用イタシマスニシタ所デ、下級船員ハ依然下級船員デアリマス、潛水艇其他ニ對スル行動ハ其場合ニ臨ンデ豫備若クハ後備兵ヲ若干載セテ、其不足ヲ補フト云フ途モ付クノデアリマス、今日ハ事實斯ノ如クヤツテ居ルノデアリマス、必シモ之ヲ兵籍ニ編入シナケレバナラスト云フ理由ハ發見シ得ナイノデアリマス、私ハ是ガ海軍ノ教育ヲシ兵籍ニ編入スルコトハ絶対ニ出來ナイトハ申サナイ、法ヲ設ケレバ或ハ出來得ルノデアリマセウ、併シ困難デアルト云フコトハ先刻カラ申上ゲタノデアリマス、要スルニ當局ノ意見ニトシテハ先刻申上ゲタ通リゴザイマシテ、遺憾ナガラ伊東男爵ノ御意見ニハ御同意イタシ兼ネマスト云フコトヲ一言イタシテ置キマス

ニ於テ下級船員ノ志願者ノ減退ヲ防グノハ獎勵ノ如何ニアルト云フヤウナ御答辯デアリマシタガ、而シテ此獎勵ハソレデハドウ云フ獎勵ヲ執ラレテ、實際今日既ニ海員ノ志願者ノ少イノハドウ云フ獎勵ヲ政府ハ執ラレルカ、尙ホ進ンデ一應承ハリタイ、ソレカラ又戰時ノ謂ハユル昔時ト違ッテ今日ノ海戰デハ此徵發船舶ノミナラズ商船マデ非常ニ擊沈サレ、海員ヲ失フノハ莫大デアル、ソレヲドウ云フ方法ヲ以テ補フカ、ソレハ又海軍ノ豫後備ヲソレニ向ケルカモ知レナイ、ソレハ併シ海軍ノ謂ハユル海軍ソレ自身ガ非常ニ又ソレハ必要ガアルカ、アレバ其内容ヲ承ハッテ置キタイ、是ハ誠ニ大事ナコトデ、今日徵兵令ノ御改正ニナルニハ是ハドウシテモ講究シテ置カナケレバナラヌ海軍ノ大問題、即チ此海員ト云フト些細ナヤウデアリマスケレドモ、既ニ海軍大臣モ其範圍ノ廣イコトハ御認メニナツテ居ル、併ナガラ之ニ又軍隊教育ヲ與ヘルト云フコトハムヅカシイト云フコトヲ御考ヘニモナツテ居リマスガ、是ハ又見様ニ依ツテハ毎年度ニ分ケテ、ソンナ莫大ナ數ニハナラナイダラウト思ヒマス、ソレカラ又一方陸軍志願兵、一年志願兵ト云フ色モ制度ガアツテ、免

ニ角皆兵ト云フ實ヲ舉ゲラレル今日デアリマスカラ、是ハ海軍大臣ノ言ハレル通リ講究シタラヤル途ハアルダラウト思ヒマス、何分ソレハ困難デアル、困難ト云フコトト今日國ノ必要ニ應ジテヤラナケレバナラヌト云フコトハ全ク別ノモノデ、私ハ困難ダカライケナイト云フ問題ハ全ク是ハ問題ニナラナイト思ヒマス、進ミマシテ第二ノ點モ明カニサウ致セバ戰時ニ於テ謂ハユル商船徵發船トカ其他ノ補充ハドウ云フ人ヲ以テ今日充テルトキハ充テ居ルカ、斯ウ云フ者ガアルト云フコトノ御明答ヲ伺ッテ置キタイ

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 船員ノ補充ト云フコトハ海軍大臣ノ所掌デハゴザイマセヌ、併ナガラ是ハ途ヲ設ケタラ出來得ナイコトモアルマイト考ヘテ居リマス、唯茲ニ具體的ニ斯ミノ方法ヲ持ッテ居ルト云フコトハ申上ゲ兼ネマス、唯是ハ海軍ノ所掌ニ屬シテ居ラヌト云フコトダケ御参考ニ申上ゲテ置キマス、又教育云々ト云フコトモゴザイマシタガ、教育ガ絶對ニ出來ナイトハ申サナインデアリマス、斯ノ如クニマデ致シテ平時ヨリ之ヲ兵籍ニ編入シテ置クノ必要ヲ認メナイト云フコトヲ申上ゲル、御承知ノ如ク彼等船員ニ若干ノ軍事教育ヲ施シテ、是ガ戰時ニ軍事上ノ智識ヲ保持シ得ルダケノ教育ヲ致スト云フコトハ容易ニ出來ナイ問題デアリマス、從ツテ平時兵籍ニ編入シテ置カナクテモ、戰時ニ當リマシテ所要ノ若干ノ數ノ者ニ對シテ臨時ノ處置ヲ以テ之ニ軍事ノ教育ヲ施スト云フコトハ是ハ可能ノモノデアリマス、戰事突發イタシマシタ場合直チニ船員全部ガ軍事教育ヲ受ケタ者デナクテハナラナイト云フ必要ハ軍事當局者ハ考ヘテ居ラナイ

○江木千之君 私ハ茲ニ本案ニ賛成ヲ致ス趣意ヲ簡單ニ申述ベマシテ、併セテ改正數箇條ノ一箇條ニ付テ軍務當局ノ言明ヲ受ケテ置キタイト考ヘルノデアリマス、今回ノ改正ハ要スルニ一面ニ於テハ皆兵主義ニ基イテ兵役義務ノ均衡ヲ圖ルコトト、又他ノ一面ニ於テハ教育ト兵役ノ關係ニ付テ改善ヲ加ヘルト云フ此ニアルト考ヘルノデアリマス、而シテ此改正ヲ促スノ動機ハ我貴族院ガ大正二年ニ建議ヲ致シテ設ケラレタ所ノ教育調査會ニ其端ヲ發シテ居ルノデアリマス、而カモ其時ハ大正二年ヨリ三年ニ瓦ツテ居ルノデアッテ、未ダ今日ノ世界ノ大戰ノ勃發セザル前デアルノデアリマス、此時ニ於テ我ガ教育社會ガ此點ヲ深ク考へ、改善ヲ企テ、ソレガ今日茲ニ議會ニ於テ改正ヲ議スルコトニ運ンダト云フコトニ付テ、本員ハ此改正案ヲ賛成スルノ意

ヲ一層強クスル次第デアルノデアリマス、然ルニ此改正案ノ中ノ一箇條、即チ六週間ノ現役兵ヲ一年現役兵ノ制度ニ改ムルト云フコトニ付キマシテハ、他日或ハ法令改正ノ趣意ニ付テ誤解ヲ生ズルコトハナイカト云フコトヲ甚ダ懸念イタスノデアリマス、徵兵令ノ改正ニ付キマシテハ、曾テハ僅ニ三文字ノコトカラシテ遂ニ騒擾ヲ惹起シタト云フヤウナコトモアリマスルガ、是ハ人知未開ノ時ノコトデアリマスデ、今更斯様ナコトガアラウトハ考ヘヌノデアリマス、併ナガラ今度ノ改正ノ徵兵令モ唯之ヲ明文ダケニ依ツテ讀ミ下スト、或ハドウ云フ解釋ヲ下スデアラウカト云フコトニ付テハ甚ダ懸念スルノデアル、六週間現役兵ガ一年現役兵ノ制度ニ改マル、是ハ察スルニ小學教員ノ如キハ洵ニ小役人トモ申スベキ者デアッテ、且ツ其生活狀態ハ常ニ生活難ヲ歎ジテ居ル有様デアル、故ニ是等ノ者ニ對シテ二箇年ノ現役ハ甚ダ困難デアルカラ、恩典ヲ以テ御情ケヲ以テ之ヲ一年現役デ濟マシテヤルノデアル、斯ウ云フ趣意カラ出タモノノデアルト云フガ如キ、或ハサウ云フ解釋ヲ取ツテ之ニ當リ、此教育ヲ引受ケル部隊長ナドガ其考ヘヲ以テ之ニ當ツタナラバ、此改正ノ趣意ハ全ク滅却サレテシマフノミナラズ、改正ノ趣旨ノ期スル所ト正反對ノ結果ヲ見ルニ至ルデアラウト云フコトヲ虞レルノデアリマス、制度上小學教員ノコトニ付テハ往々誤解ヲ生ズルコトガ珍シカラヌノデアリマス、少シ横道ニ這入ルヤウデアリマスルガ、一ノ例ヲ舉ゲテ其場合ノアルコトヲ明ニシタイト考ヘルノデアリマス、現行ノ市町村制ニ於テ小學教員ト云フハ市町村會議員トナルコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此大切ナル制員ノ被選舉權ヲ與ヘスト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此大ナル制度ガ發布セラレテ、之ヲ政府當局ガ地方長官等ヲ召集シテ訓示スルニ當ツテ如何ナル解釋ヲ下シタカ、其當時或ル長官ノ質問ニ對シテ政府ノ説明員ノ答アリマス、今回ノ改正ハ要スルニ一面ニ於テハ皆兵主義ニ基イテ兵役義務ノ均衡ヲ圖ルコトト、又他ノ一面ニ於テハ教育ト兵役ノ關係ニ付テ改善ヲ加ヘル所ハ、小學教員ナル者ハ高尚専門ナル學識ヲ有スル者デナイ、徒ラニ辯舌ヲ弄シテ人ヲ瞞著スル風ガアル、故ニ市町村會議員タルコトヲ得ザラシムヘルノデアルト云フ驚クベキ解釋ヲ下シテ、一人ノ地方長官ノ之ニ對シテ疑義ヲ挾ム者モナク、其説明ノ筆記ハ印刷セラレテ、廣ク各地方ニ配布セラレタノデアリマス、然ルニ常ニ小學教育ノ盛衰ハ國家ノ隆替ニ係ル、小學教員ノ任ハ重大ナルモノデアルト云フ考ヘヨリシテ、薄給ニ甘ンジテ其職務ニ汲々トシテ居ル所ノ教員等ハ、其政府ノ書面ヲ見テ、實ニ驚イタノデアッタ、ソレガ爲ニ非常ニ物議ヲ生ジ、政府モ茲ニ省ル所ガアッテ、能ク其法ノ精神ヲ或

ハ我ガ模倣スル所ノ外國ノ制度ナドニ付テ調べテ見タ所ガ全ク其解釋ガ誤ツ  
テ居ツタノデアル、即チ小學教員ナル者ハ人ノ子弟ヲ預ッテ大切ナル國民教育  
ヲ施シテ居ル者デアル、故ニ市町村ニ於テハ父兄等ニ對シテ非常ナ勢力ヲ有  
スル者デアル、斯ノ如ク大ナル勢力ヲ有スル者ヲ以テ市町村會議員タラシム  
ルハ、其選舉ノ公平ヲ缺クノ虞ガアルト云フヤウナ理由ヲ確カメタノデアリ  
マス、又國家教育ノ重任ニ當ツテ居ル者ニ更ニ市町村ノ名譽職ヲ負擔セシムル  
ト云フコトハ負擔ガ過重デアルト云フヤウナ所ノ理由ヲ段々知ラレテ、即チ  
其理由タルヤ何レモ教員ノ位置ヲ重ンジ、教員ノ職ヲ尙ブ所ヨリ出テ居ルト  
云フコトヲ明カニシテ、此物議ヲ治メタト云フ  
例モアルノデアリマス、今若シ此徵兵令ノ改正ニ付テモ、先ニ申スガ如キ解  
釋ヲ以テ此一年現役兵ガ教育ニ當ルト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、  
改正ノ趣意ハ全ク滅却サレテシマフ、加之此特別委員會ニ於テ附帶決議トナッ  
タ所ノ四月ノ入營ノ制ニ改メルト云フコトニセラレタナラバ、是ハ最モ望マ  
シキコトデアリマスルガ、若シサウ云フコトニセラレタナラバ、此一年現役  
兵ナルモノハ四月ニ入營シテ、秋季ノ大演習マデ七箇月隔テルノミデアリマ  
ス、十二月ノ入營デ十一箇月ヲ隔ツルモノニ比ベルト、非常ナ相違ガアル、  
若シ此場合ニ於テ關係スル所ノ部隊長等ハ是ハ一年現役デアル、二年ヲ恕シ  
テ一年デ濟マシテヤルノデアル、速成デ教育ヲ仕込ム、十分ナラヌガ一人前  
ノ兵卒ニシナクチヤナラヌト云フヤウナ段々考ヲ有ツテ之ニ過重ナル課業ヲ  
課シタナラバ、其教員ト云フモノハ唯負擔ニ苦シムト云フコトヲ認メルコト  
外何ニモ得ル所ハナイト云フヤウナコトニナリハシナイカト云フ懸念ガアル  
ノデアリマス、ソレデ此等ノ者ニ對シテ畢竟是ハ皆兵主義ヨリシテ兵役ノ任  
務ヲ盡スガ爲ニ改正シタノデアル、且又教育ノ上ニ於テハ護國ノ義務ヲ果シ  
タ所ノ者ヲ以テ教職ニ充テタナラバ小國民ノ教育ノ上ニ於テ護國ノ義務ヲ十  
分ニ了解サスコトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ趣意ガアリ、且又一年ノ現役  
ヲ濟マシテ一通リノ軍事教育ヲ受ケタ者ガ國民教育ノ任ニ當ルト云フコト  
ハ、國民教育ノ全體ノ趣旨ヲ徹底セシムル上ニ於テモ非常ニ效果ガアル、斯  
ウ云フコトガ此改正ノ重モナル趣意ニナツテ居ルト云フコトヲ能ク徹底セシ  
メナクテハナラヌデアラウト思フ、且又此改正ノ趣意ノ半面ハ過日臨時教育  
會議ニ於テ決定セラレタル所ノ、學校ノ兵式教練ト云フモノヲ振興シテ、一  
ハ德育ニ裨補スル、併セテ體育ニ資スル、斯ウ云フ趣意ヲ以テ過日教育會議

ガ決定サレ、政府當局モ同意ヲ表セラレタ、此意味ト此一年現役兵ノ制度ヲ  
立ツタト云フコトハ、其精神ハ相一致スル所ガアルト考ヘルノデアリマス、  
ノミナラズ過刻委員長ノ報告ニハ省略セラレマシタガ、此一年志願兵、一年  
現役兵ニ付テハ教員ガ一年ノ現役ニ服スル間、市町村ニ於テ是ガ代理ヲ置カ  
ナクチヤナラヌ、又現役ニ服スル所ノ兵モ、其教員モ相當ノ給與ハ續ケナク  
チヤナラヌト云フ必要ガアル、之ニ付テハ今日ノ市町村ハ負擔ニ堪ヘラレナ  
イノデアル、政府ハ此邊ニ付テ如何ナル處置ヲ執ラレルカト云フコトニナッタ  
所ガ、政府ハ之ニ對シテハ五十萬圓乃至六十萬圓位ナ國庫金ヲ支出シテ、一  
年現役ニ服シタ所ノ教員ノ俸給ノ大部分ヲ支辨シテヤルト云フ積リデアルト  
云フコトヲ確答セラレタノデアリマス、斯ノ如ク公費ヲ惜マズシテ、サウシ  
テ此一年現役ノ制度ヲ設ケラレルノデアリマスガ、是ハ軍事ノ爲ニ平時ニ於  
テ用立ツカト云フト、直チニ第一國民兵ニ編入スルノデアリ、軍事ノ上カラ  
申セバ平時ニ於テ左マデ用立ツモノデハナイノデアル、然ルニモ拘ラズ、此  
數十萬ノ國庫金ヲ支出シテ兵役年限ヲ一年ニ延バスト云フ改正ヲ企テルト云  
フコトハ、畢竟國民教育ノ上ニ重大ナル關係ガアルト云フコトヲ認メルコト  
ガ出來ルノデアリマス、此等ノ趣意ガ能ク此一年現役兵ノ教育ヲ扱フ者ノ脳  
裡ニ徹底シテ居ナケレバ、此改正ノ趣旨ヲ徹底スルコトハ到底出來ナイト考  
ヘル、ノミナラズ唯苦シミダケヲ經驗スルト云フコトニナツタナラバ、ソコハ  
法律ノ期スル所ト反對ノ結果ヲ生ズルデアラウト云フコトヲ本員ハ深ク憂慮  
スルノデアリマス、此邊ニ付テハ軍務當局ハ如何ナル考ヲ有ツテ居ラレルカ、  
又如何ナル方法ヲ執ラレルカト云フコトヲ、今日此場合ニ於テ言明セラレム  
コトヲ希望スルノデアリマス、尙ホ第三ノ附帶決議ハ少シ餘波ニ瓦ツテ段々  
スルノデアリマスガ、此邊ニ付テハ軍務當局ハ如何ナル考ヲ有ツテ居ラレルカ、  
ク兵籍ニ入レルナドト云フヤウナコトハ、委員會ノ決議デハナカツタヤウニ  
考ヘルノデアリマスガ、併シ海軍大臣ハ斯様ニ考ヘテ居ラレルト云フコトデ  
アリ、又之ニ付テハ反對ノ御議論モアルト云フコトデアリマスルガ、本員ハ  
唯水兵ノ補充ガ今日一層必要ニナツテ來タ、之ニ付テモ相當ノ方法ヲ講ゼラレ  
ルヤウニト云フ精神ヲ以テ此發議ニ賛成シ、特別委員會ハ一致シテ賛成ヲシ

タノデアリマスルガ、併ナガラ段々意思ノ齟齬シテ居ル所モアルヤウデアリマスルカラ、本員ハ此點ニ付テ此議場ニ於テ餘リ混雜ヲ重ネルヤウナ議論ノ生ズルコトハ好マヌノデアリマスルカラ、未ダ今後豫算總會モアリ、豫算分科會モアリ、當局ト意見ヲ交換ヲシ、此事ヲ決定スルニハ隨分他ニ機會モアルデアラウト考ヘマスルカラ、是ハ前田子爵ノ御發議ガアリマシタラ、ソレニ依ツテ之ヲ今日決定スルカ、他日ニ之ヲ保留スルカト云フコトハ其前田子爵ノ御說ヲ承ハッテ決定シヤウト考ヘルノデアリマス

〔國務大臣大島健一君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(大島健一君) 江木君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、此一年現役兵ノ改正ハ非常ナ意味ノアルモノデアリマスルカラ、其意義ヲ能ク明ニシテ置カヌケレバナラヌ、ソレニ付テ斯ウ云フ主義ノモノデアラウト云ウテ御述ベニナリマシタコトハ、此改正ニ當ツテ恰モ我ニガ考ヘテ此改正ヲ企テマシタル趣意ト大體同ジ御趣意ノヤウニ思ヒマスルカラ、私ガ茲ニ更ニ又之ヲ繰返ス必要ハアリマスマイト思ヒマス、又法文ヲ見マシテモ其點ハ十分明カニ見エテ居ル考デゴザイマス、一年現役兵ノ制度ヲ採ラウト申シマスルノハ、其モノヲ以テ我軍ノ戰鬪力ヲ直接ニ増加スルト云フ考ヘハ有ツテ居リマセヌノデ、全ク先程御話ノ軍事教育ヲ完全ニ受ケテ、之ヲ小國民ニ傳ヘテ、是等ノ護國ノ義務ヲ盡ス素質ヲ十分ニ養フト云フニアリマシテ、此小學校ノ教員ハ國家萬般ニ對シ、又護國ノ義務ニ對シ重大ナル任務ヲ有ツテ居リマスルノデ、是ノ力ニ依ツテ將來小國民ノ善惡ガ分レルノデアリマスカラ、重キヲ置イテ居リマスノハ無論、從ツテ教育ニ付テモ時期ガ四月ニ這入ツテハ一體ノ軍隊教育ト相副ハヌ點モアル、是等ハ注意ヲ要スル點デアラウト云フ御注意モ我ノハ特ニ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、十分ノ努力ヲ以テ是等ノ教育ヲ完ウシテ、延イテ小國民ノ教育ヲ完ウシタイト思ツテ居リマスル、デ先程古賀君子御間ニ對シテ御答シタ豫後備ノ將校ニスルト云フガ如キハ當人ノ希望ニ依リ、又當人ノ位地ヲ高メルト云フ點ニ於テモ、同ジク一年志願兵ト同ジ素養ヲ有ツテ、同ジ年月ヲ勤務シタ者デアルカラ、將校タルノ能力アリト云フコトヲ明瞭ニスルノガ主デアリマス、併シ左様相成ツタ者ハ戰時ニ之ヲ用ヒ得ルノデアリマスカラ、動員計畫等ニ於テ或ル時期ニ用ヒルヤウニスルトシマシテモガ、必ズ教育ニ非常ナ重大ナル任務ヲ有ツテ居ルモノデアルカラ、其人ヲ要スルト云フ、恰モ今日ノ歐羅巴ノ大戰ノ如ク非常ナ人ヲ要スル場合ハ格別、前申

ス直チニ戰鬪力増加ノ目的ニ使フト云フコトハ無論ナイ積リデ、致シマセヌ積リデゴザイマス、デ今日歐羅巴ナドヲ見マシテモガ、近頃ニナツテ漸ク手ヲ怪我シタトカ、足ヲ怪我シテ癒ツタト云フヤウナ者ガ教員ニナリ、健全ナ教員ガ戰場ニ出ルト云フヤウナ情況ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハ其精神ヲ明カニ、其方法ヲ明カニシヤウト云フ御趣意ノヤウニ見エマシタガ、此法文ニ於テモ亦先程御話ノ俸給ヲ給與シ、尙ホ一年志願兵ト違ツテ國家ノ費用ヲ以テ入營ヲサセテ教育ヲスルト云フヤウナ點ヲ見マスルト、一年志願兵ト異ナツテ、全ク此國民教育ノ重要ナル任務ニ充テル目的ヲ以テ國家ガソレダケノ費用ヲ投ジテ教育シテ居ルト云フコトハ是デ十分見エヤウト思ヒマス、尙ホ併シ總テノ機會ニ於テ今ノ主義ヲ明カニスルコトニ政府ハ努メマスル○高橋作衛君 海軍大臣ニ一二點伺ヒタイコトガゴザイマス、ソレハ先程伊東男爵ヨリ色ゝ御質問ガアツタコトニ付テノ御答辯ト、参考トシテ御話ニナツタコトニ付テ其中カラ二三點伺ヒタイコトガゴザイマス、先程委員長ノ報告ニ依リマスト、此商船ノ下級乘組員ノコトニ付テノ希望條件ト云フモノガ出シマシタ時ニ、海軍ノ政府委員ニ於キマシテハ一度之ニ同意ヲ表サレテ、又特別委員會ニ於テモ全會一致ヲ以テ之ヲ認メタト云フノデアリマス、然ラバ是ハ相當ノ理由ガアツテ海軍ノ政府委員ハ一度ハ之ヲ認メラレ、又特別委員會ニ於テモ、先程委員長ノ報告セラレタル如クニ慎重ノ審査ヲセラレタル結果デゴザイマスレバ、相當ノ理由ガアツテ之ヲ認メタト考ヘル外仕方ガナイト思ヒマス、然ルニ先程海軍大臣ガ伊東男爵ニ御答ヘニナツタ所ノ内容ヲ伺ヒマスルト、先ツ申サバ一モニモナク反對トスウ云フ風ニ承ハルノデアリマス、然ル場合ニ於キマシテハ、一度政府委員ニ於テ之ヲ認メ、今日ハ又根本的ニ全部取消ニナツタヤウナ有様デアル、併シ特別委員會デハ、一度其場合ニ於テ其希望條件ヲ認メタニモ相當ノ理由ガアリ、又海軍ノ政府委員ハ之ヲ認メタ、承諾サレタト云フコトニモ相當ノ理由ガアルト思フノデゴザイマス、全部ソレヲ誠ニ木デ鼻ヲカムガ如クニ跳付ケテ仕舞フト云フノハ、ドウモ私ニ付キマシテハ、私ガ申上ゲルマデモナク、海軍大臣ハ御承知ノコトデゴザイマセウ、是ハ海戰法規ノ上カラ見マスト、其法律上ノ立場ハ俘虜トナリ得ベキ人間デアルノデ、而シテ俘虜トナリ得ベキ所ノ人間ノ其根本ノ法律上ノ理

由ト云フモノハ、陸戰法規ノ方カラ申シマスト、其第三條ニ於テカラニ其組織ハ戰鬪員非戰鬪員トアツテ、其戰鬪員非戰鬪員ハ俘虜タルコトヲ得ル、俘虜トナルベキ者ハ軍人ト云フコトガ根本ニナッテ居ル、海戰法規ニ於テ何ガ俘虜ニナルカト云フト、矢張リ敵國商船ニ乗ッテ居ル敵國ノ臣民タル其下級水兵、船長初メ其他ノ乘組員ハ俘虜トナリ得ルモノト、ナリ得ルト云フト語弊ガアルヤウデゴザイマスガ、私ノ専門カラハナリ得ルモノト云フ方ニ入レテ居ル次第デゴザイマス、サウスルト水兵、其商船ノ水夫モ或ル一面ニ於テハ軍人ト同ジヤウナ性質ガアルト云フコトモ法律上ノ方カラ解釋シテ居ル次第デゴザイマス、申ス迄モナイ次第デゴザイマスガ、甚ダ失禮デスガ、實例ヲ申シマスト、普佛戰爭ノ際ニ佛蘭西ノ方ノ側デ獨逸商船ノ乘組員ト云フモノヲ俘虜トシタ時ニ、普通臣民デアルモノヲ俘虜トスルノハ不都合デアルト言ッタ時ニ、其裁判ヲ英國ノ樞密院ニ出シマシタ時ニ、英國ノ樞密院ノ判決例ニ依リマスト、商船ノ乘組員ハ普通ノ人民ト違フ、不斷カラ商船ノ乘組員デアルカラ既ニ何時デモ軍艦ニ乘込マスダケノ素養ヲ與ヘル、即チ軍事ニ適應スペキヤウナ教育ヲ與ヘテアルモノデアルカラシテ、ソレデ斯ノ如キ者ハ俘虜トスル、普通ノ人間トハ違ッテ軍事的ノ素養ノ一部分ヲ持ッテ居ル者デアルト云フ取扱ヲシテ、商船ノ乘組員ト雖モ俘虜トスル、而シテ一面ニハ商船ノ會社等ニハ航路補助金ヲ與ヘテ、戰時ニ於テ其船ヲ徵發イタシ、乘組員ハ水夫トスルト云フ豫約ノヤウナモノデ補助ヲ與ヘテ居ル、商船會社デハ航路補助ハ要ラスト云フノヲ無理ニモ與ヘテ居ルノハ、サウ云フ覺悟ヲ以テ航路補助ヲ與ヘルト云フノテアルカラ、水夫ト云フ者モ俘虜トシテ差支ナイト云フ判決ニナッテ居ルヤウニ承知イタシマス、外國ノ判決例ト云フモノハ日本デ遵奉スル必要ハアリマセヌケレドモ、私ノ記憶ガ違ッテ居ルカ知リマセヌガ、大正三年一月十三日ニ天皇陛下ガ御批准ニナリマシタ所ノ條約ニ於テ商船ノ捕獲ニ關スル條文ガ載ッテ居リマスガ、敵國臣民ニシテ敵國商船ニ乘組ンデ居ルモノハ俘虜トスル原則ニナッテ居ル、特別ナル宣誓ヲ爲スニ非ズンバ俘虜トスルト云フコトガ原則ニナッテ居ル、斯ノ如キ有様デアリマスルト、水夫ト云フ者ハ即チ不斷カラシテ軍事教育ノ一部ヲ受ケテ居ル、而シテ又はハ場合ニ依ッテ大原則カラ言ヘバ俘虜トナリ得ベキ特別ノ者デアルト云フコトデアリマスルト、斯ノ如キ水夫ニ對シテハ矢張リ此徵兵令ニアリマスル如ク、中學校ヲ卒業シタ者ハ一年志願兵ト云フコトヲ許スト云フヤウナ工合ニ、特

別ナル待遇ヲ與フベキ者デアルノデハナカラウカ、又唯今海軍大臣ノ言ハレタ所ニ依ルト、一般ノ水夫ハ數ガ多イカラ困ルト云フ御言葉デアリマスケレドモ、政府ノ監督ノ行届キ得ル所ノ航路補助ヲ與ヘテ居ルト云フヤウナ會社ノ水夫ト云フモノハ、或ル特別ナル所ノ待遇ヲ與フベキ者ダト云フヤウナ、折衷ノ御研究ヲ爲ス御考ハナイノデアリマスルカ、如何デアリマスルカ、ソレヲ伺ヒタイ

#### 〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（加藤友三郎君）高橋君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、委員會ニ於テ政府委員ガ同意ヲシタト云フ御言葉デアリマスルガ、唯今政府委員ニ聽キマシタラ、別ニ贊否ノ意見ハ何等申述ベナカッタサウデアリマス、又唯今高橋君ノ御意見通リデアリマスルト、先刻來私ガ解釋ヲ致シテ居リマスル趣旨トハ全然異ナッタ趣旨ニナル、法律上ノコトハ洵ニ不案内デゴザイマスルノデ、何等之ニ對シテノ意見ハゴザイマセヌ、併ナガラ或ル特殊ノ者ニ特殊ノ扱ヒヲスルト云フコトニナリマスルナラバ、是ハ別ニ顧慮ノ値打ガアルト考ヘマス、併ナガラ先刻來解釋トシテノ主義ハ下級船員全部ト云フコトノ趣旨ニ私ハ解釋イタシテ居ルノデ、其意味ニ於テハ如何ニシテモ顧慮スルノ餘地ガ當局トシテハ今日マデナインデアリマス、一部ノ大船ノ船員、或ハ中學ヲ卒業シタ者ノ程度ニアル者ト云フヤウナ如キ者ニ對スル問題ハ、是ハ別問題トシテ致研究イタスコトハ差支ナイト考ヘテ居リマス

○男爵内田正敏君 私ハ海軍大臣ニ一言御質問ヲ申上グマス、先刻來段々伊東男爵其他カラノ御質問ニ對シマシテ御答ノアッタコトハ承知イタシテ居リマス、然ルニ此問題モ追々時ヲ取ルヤウデアリマスルカラ、極ク簡單ニ要點ヲ伺ヒタク、下級船員ノ今日ノ狀態ハ餘ホド困難ナル狀態デアルカノ如ク承知ヲ致シマスノデ、一體海戰ハ、昔ノ海戰ト違ヒマシテ今日ノ海戰ハ餘ホド御承知ノ如ク變化ヲ致シテ居リマス、昔ノ海戰ニ於キマシテハ商船ニ對シテハ軍艦ガ一モ害ヲ與ヘルヤウナコトハナイ、今日ノ狀態ハ新聞等デ承知ヲ致シマスレバ、既ニ病院船マデモ擊沈スルト云フヤウナ狀態ニ至ッテ、頗ル慘酷ナ狀態ニ至ッテ居ルト云フコトハ明カナコト、然ルニ今日歐羅巴其他即チ居ルモノハ俘虜トスル原則ニナッテ居ル、特別ナル宣誓ヲ爲スニ非ズンバ俘虜トスルト云フコトガ原則ニナッテ居ル、斯ノ如キ有様デアリマスルト、水夫ト云フ者ハ即チ不斷カラシテ軍事教育ノ一部ヲ受ケテ居ル、而シテ又はハ場合ニ依ッテ大原則カラ言ヘバ俘虜トナリ得ベキ特別ノ者デアルト云フコトデアリマスルト、斯ノ如キ水夫ニ對シテハ矢張リ此徵兵令ニアリマスル如ク、中學校ヲ卒業シタ者ハ一年志願兵ト云フコトヲ許スト云フヤウナ工合ニ、特

バ殆ド軍艦ト選ブ所ハナイト思フ、ソレデ今日歐羅巴其他危險海ヘ、帝國ノ商船ガ平時ト異ナルコトナク航海ヲ續ケテ居ルト云フコトハ、我々公務員トシテ實ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デ、如何トナレバ御承知ノ如クモウ今日マデニ八阪丸ヲ始メ帝國ノ商船ガ擊沈メラレテ、其數字ハチヨット覺エマセヌケレドモ餘ホド多數ニアルト思フ、航海ヲ續ケテ我ガ協商國ヲ助ケテ居ルト云フコトハ、外國ノ新聞ニ於キマシテモ餘ホド帝國ヲ徳トシテ居ルト云フコトヲ承知イタシテ居リマス、然ルニ今日ノ狀態ハドウカト言ヘバ、先ヅ英吉利「チヤンネル」カラ始メ地中海其他ニ於キマシテハ、協商國デ海上權ヲ持ッテ居ルカラシテ、獨逸ノ潛航艇モ十分ナル活動ヲ爲スコトガ出來ナイカラシテ、帝國ノ商船ノドン沈サル、數モ餘程少イデアラウト考ヘラレマスルガ、然ルニ將來帝國ニ於テ非常ノ事ガアリマシテ、外國ト戰鬪ヲ開クノ已ムヲ得ナイコトニナリマシテ、サウシテ此亞細亞沿岸、即チ日本沿岸等ニ於テ海上ノ權ヲ争ヒ、敵對狀態ニ至ツタ場合ニハ、如何ナル狀態ガ商船ニ出來ルカ、又ハ帝國ハ爾今亞細亞方面カラ適當ナル原料ヲ得ナケレバ、逆モ日本帝國ダケノ原料デ以テ是ガ用ヲ達スコトハ出來マイ、ドウシテモ亞細亞沿岸ト聯絡ヲ取テ置カナケレバナラヌト云フガ國是ト考ヘマス、其場合ニ臨ンデ帝國ノ水夫ガ戰線ニ立ツテ果シテ其用途ヲ爲スベキヤ否ヤト云フコトハ、私共ノ日夜憂ヘテ居ル次第デアリマス、昔ハ商船ニ對シテハ何モ軍艦ガ擊沈メルト云フコトハナカツタノデアリマスケレドモ、今日ハ戰時ニ至レバ殆ド軍人ト擇ブ所ハナイト考ヘマス、若シモ今日ノ狀態デアッテ、右申述ベマシタ通り餘程危イ状態ニナツタ時分ニ、水火夫ガ進ンデ船ヲ乗出スヤ否ヤト云フコトハ、頗ル疑問ト致シマス、私ハ戰サヲスル人デナイカラ此航海ハ御斷リヲスル、私ハドウカ下シテ貴ヒタイ、斯ウ云ハレテモソレヲ強ヒルコトハ出來マイ、軍籍ニ在ラザル場合ハ其場合ニ臨ンデ如何ニ爲スカト云フコトニ付テハ、實ニ心配ニ堪ヘラレヌノデアリマスカラ、幸ニモ斯ウ云フ希望ガ出マシタト云フコトハ我々共ハ實ニ喜ンデ居ル次第デアリマス、又海軍大臣ハ職工ニ比シテ、色々伊東男爵ノ間ニ對シテ職工ニ比セラレマシタガ、職工ハ何モ軍事教育ヲ施ス必要ハアリマスマイ、職工ト今日下級船員トハ餘程違ツテ居ル、右申述ベマシタ通リ下級船員ハ戰線ニ立ツテ仕事ヲシテ行カナケレバナラヌ、八阪丸ガ現ニ擊沈メラレタ場合ニ於テ如何ナル船員ハ狀態デアッタカ、又三十七八年ノ役ニ於テモ初期ニ於テハ非常ニ下級船員又ハ高等船員等ヲ戰線ニ立タス

ト云フコトニ付テ餘程苦心ヲ致シテ居ル、然ルニ今日マデ總テ航海ヲ續ケテ居ルト云フコトハ、實ニ我ガ大和民族ノ本性ヲ發揮シテ茲ニ至ツテ居リマスルケレドモ、追々船ガ擊沈メラレルコトニナツタナラバ、此魂ガ存續サル、ヤ否ヤト云フコトモ、一ノ考慮ヲ要スル問題デアラウト思ヒマス、若シモ今申述ブル如ク戰時ニ至ツテ、私ハ戰線ニ立ツベキ職務ハ有ツテ居リマセヌ、御断リヲ致シマスト言ハレタ曉ニハ如何ニナルカ、其邊マデモ御考ヘニナツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ、海軍大臣ニ一言御答ヲ願ヒタイ

〔國務大臣加藤友三郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(加藤友三郎君) 内田男爵ノ御意見ヲ色々拜聽イタシマシタガ、下級船員ニ對スル種々ナル問題モ極端ノ方ヲ解釋イタシマスト、内田男爵ノ御意見通リノコトガ事實デアラウト考ヘマス、又他ノ方面カラ觀察ヲ致シマシテ、東京灣内ヲ航行シテ居ル小サナ船舶ニ乗込ンデ居ル船員モ船員ニ違ヒナイノデアル、從ツテ先刻來私ノ申述ベマスノハ船員全體ト云フコトヲ根柢トシテ申述ベテ居ルノデアリマス、特殊ノ船ニ乗込ム者ニハ特殊ノ處置ヲ執ルコトハ、戰時ニ於テ臨機ニ出來得ルコトシテアリマス、兵籍ニ編入シテナイ者デアレバ戰時ニ戰地ニ行クコトヲ厭ヤガッタ場合ニ困ル、是ハ洵ニサウ云フコトモアリマセウト思ヒマス、絶無トハ私ハ申シマセヌガ、是等ヲ獎勵スル途ハ他ニ方法ガアリハシマイカ、斯様ニモ考ヘルノデアリマス、現ニ其點ニ付テハ多少今日モ講究ヲ致シテ居リマス、私ノ先刻御希望ニ對シ甚だ遺憾ナガラ反對ノ意志ヲ申上ゲマシタノハ、大體ニ於テ下級船員全部ヲ兵籍ニ編入スルコトハ聊カ穩當デアルマイト云フノガ私ノ趣意デアリマス、先刻高橋君ノ御質問ガアリマシタ或ル一部ニ對シテ徵兵令ニアルガ如キ中學卒業程度ノ者云々、或ハ特殊ノ船ノ乗員ニ對シテ云々ト云フガ如キ、局限サレタ意味ニ於テハ尙ホ講究ノ餘地ガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレダケヲ申上ゲマス

〔子爵前田利定君演壇ニ登ル〕

〔男爵内田正敏君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 前田子爵ニ發言ヲ許シマシタ

○子爵前田利定君 本員ハ徵兵令ノ改正法律案ニハ贊成ヲ致シマス、茲ニ之ニ附帶イタシマシタ所ノ一年志願兵、並ニ一年現役兵ニ關スル希望決議ニモ御賛成ヲ申上ゲルノデアリマス、併ナガラ商船ニ乗組ム所ノ下級海員ニ關シ

マスル御希望ノ御決議ニ對シマンテハ、遺憾ナガラ御同意申上ゲニクイノデアリマス、即チ貴族院ガ院議ヲ以テ其希望決議ヲバ通過サセタト云フ記録ヲ留メテ置キタクナイト思フノデアリマス、其反対ノ趣旨ハ二ツアリマス、第一ハ徵兵令改正ノ趣旨ヨリ致シマシテ反対ヲ致シマス、第二點ハ立法ノ形式カラ反対ヲ致スノデアリマス、第一段ノ徵兵令改正ノ趣旨ヨリ反対ヲ致シマス其理由ノ前段ト致シマシテハ、前刻ノ海軍大臣ノ御説明ヲ便宜上拜借イタシタイト思ヒマス、徵兵令改正法律案ノ特別委員會ニ於カセラレマシテハ多数ノ日時ヲ御重ネニナリマシテ、沟ニ御熱心ニ、御精勵ニナリマシタ、沟ニ綿密ニ御研究ニナッタ考ヘテ居リマス、唯併ナガラ其速記録ノ第八號ノ今問題ニナッテ居リマス所ノ希望決議ノ御採否ニ關スル部面ヲ見マスト云フト、沟ニアッサリシテ居ルノデアリマシテ、何等贊否ノ御議論モゴザイマセズ、其委員會ニ携ハラス者ノ眼カラ見マスト、甚ダ語弊ガアルカモ存ジマセヌガ、咄嗟ニ通過シタヤウニモ考ヘテ居ルノデアリマス、先程海軍大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、第一ニ海軍ト致シマシテハ斯様ナ者ヲ海軍ノ豫備員ニシテ置クト云フ制度ハ必要デナイ、第二ニ假ニ必要ガアリトスルモ此多クノ船員ニ適當ニ水兵教育ヲ授ケルト云フコトハ困難デアル、而シテ又之ヲ取締リ監督スルト云フコトモ頗ル困難デアル、ト云フコトヲ申サレタノデアリマス、私モ御説明ヲ伺ハヌ前カラシテ其點ニ付テハ同様ノ疑惑ヲ有ツテ居ッタノデアリマス、海軍ニ於キマシテ果シテ此海軍豫備員ノ制度ガ必要デアルヤ否ヤト云フコトハ、門外漢デアル私トシマシテハ分リマセヌノデアリマシテ、是ハ海軍當局者ノ責任ノアル御言葉ヲ信用スルヨリ外ニ致シ方ハナイノデアリマス、併ナガラ實行上斯カル者ヲ教育スルト云フコトノ困難デアリ、而シテ又監督スルコトノ困難デアルト申スコトハ、素人デアリマシテモ是ハ想像ノ出來ルコト考ヘテ居ルノデアリマス、何様幾千百ノ大小ノ商船ガ此地球ノ海面上ニ於キマシテ梭ノ如クニ港カラ海ヘ、海カラ港ニ、日夜轉々航行イタシテ居ルノデアリマス、其船上ニ從業シテ居ル所ノ海員ヲ如何ニシテ教育シ、如何ナル場所ニ於テ、如何ナル時ニ於テスルカト云フガ如キコトハ、ナカ／＼是ハ簡單ニ考ヘルコトノ出來ナイコトデアラウト思フノデアリマス、又此多クノ海員全般ニ對シマシテ監督イタシマスト云フコトモ、是ハ困難ナコトデアラウト思フノデアリマスレバ、ソレハ別問題デアリマスガ、海軍當局者ノ御言葉ニ依リ

マスト云フト、餘リ御必要ガナイト云フヤウナ御言明デアッタノデアリマス、抑此徵兵令ノ此度ノ御改正ト云フモノハ、其趣旨ハ那邊ニ存スルカト申シマスレバ、兵役義務ノ均等ヲ擴充スルト云フコトガ骨子デアラウト思フノデアリマス、裏面カラ申上ゲマスレバ、徵兵ヲ忌避セムトスル者ヲ防止スルト云フコトデアラウト思フノデアリマス、故ニ此度ノ徵兵令ノ改正案中ニハ隨分薄給ニ甘ンジテ國家ノ爲ニ第二ノ國民ヲ教養スルト云フ大ナル役目ニ當テ居ル所ノ小學教員ヲ一年ニ其現役ヲ延長スルガ如キコト、又之ニ對シマシテ國庫ガ七十萬圓ノ金ヲ負擔スル、隨分是ハ大ニシテ且ツ貴キ犠牲ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、又學術ノ蘊奥ヲ研究スルトカ、或ハ又海外ニ渡航ヲ致シマシテ殖產興業ニ從事シテ國家ノ富ヲ增進セムトスルガ如キ者モ、二十歳前ニ海外ニ渡航ヲ致シマシテ、三十七マデ海外ニ居ラヌケレバ兵役義務ニ服サセルト云フガ如キコトモ、是モ一面カラ考ヘテ見マスレバ、隨分問題ガ起ツテ來サウヤウニモ考ヘラレマスガ、斯ノ如キ犠牲ヲ拂ッテマデモ今度ノ徵兵令ヲ改正シヤウトスルノデアリマス、其趣旨ハ今申上ゲタ通リニ兵役義務ノ均等ト云フコトヲ擴充セムトスルニアルノデアリマス、是等ニ比ベテ見マシテ商船ニ乘組ム所ノ下級海員、而カモ其下級海員ニ對シマシテハ海軍ニ於テハ適當ニ教育スルコトガ困難デアリ、取締モ困難デアルト云フコトヲ申サレテ居ルノデアリマス、私ハ斯ウ云フコトヲ恐レテ居リマス、世ノ中ノ不都合ノ者共ガ此所ニ逃込シテ徵兵ノ忌避ヲ圖ルヤウナ不得者ガ出ヤシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、出ヤシナイカト云フコトヲ心配スルト云フ言葉デ申上ゲルコトハ、是ハ餘ホド謙遜シテ申上ゲルコトデアリマシテ、有體ニ申シマスレバ、爰ガ徵兵忌避者ノ一ツノ隠家ニナリハシナイカトスウ思フノデアリマス、是ハ此度ノ徵兵令ノ改正ノ趣旨カラ考ヘマシテ、餘程是ハ熟慮ヲ要スベキ餘地ガアル問題デアラウト思フノデアリマス、第二段ノ立法ノ形式カラ反対シマスルト云フコトハ、徵兵令ノ第七條ノ二ニ「第十二條又ハ第十三條ニ依ルノ場合ヲ除クノ外志願ニ由リ兵籍ニ編入セラル者ノ服役ベキコトハ「志願ニ由リ兵籍ニ編入セラル者ノ服役ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル」ト云フコトガ書イテアリマス、唯今ノ御希望ノハ志願ニ由リ海軍ノ兵籍ニ這入ルノデハナイノデアリマス、シテ見マスレバ、第七條ノ二ノ

勅令ノ範圍ニ屬スルモノデハナイノデアリマス、故ニ其御希望ヲ貫徹セムト

ノ御考ガアリマスレバ、是ハ立法事項デアリマスガ故ニ、徵兵令ノ改正案ニ

對シテ修正案ヲ御出シニナルノガ相當デアラウト思フノデアリマス、立法事

項ニ關スルコトヲ希望決議ノ形式ヲ以テ政府ニ御依頼ニナルト云フコトハ、

是ハ穩デナイト私ハ考ヘルノデアリマス、兎ニモ角ニモ此御希望決議ニ對シ

マシテハ尙ホ熟慮研究ヲ要スベキ餘地ガアルト考ヘマス、此際即決ヲ爲スベ

キモノデハナイカノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、故ニ此御發議者ノ御精

神ニ付キマシテハ、誠ニ御熱心デアリ、御至誠デアルト云フ點ニ付キマシテ

ハ大ニ敬服イタスノデアリマスケレドモ、今日此場合咄嗟ニ之ヲ即決スルト

云フコトハ餘ホド考ヘベキモノデアルト、私ハ思ヒマスノデアリマスカラ、

熟慮研究ノ考ヲ以チマシテモ、御希望決議ダケニ付キマシテハ反対ノ意思ヲ

表明イタシタイト思ヒマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○子爵青木信光君 本員ハ前田君ノ御說ニ全然贊成イタシマシテ、是ハ熟慮

ノ意味ニ於キマシテ此希望決議ハ院議ニナラザルコトヲ希望イタスノデアリ

マス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス

ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵林博太郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○山脇玄君 贊成

〔其他贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ

ス……全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ

ス……全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵林博太郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○山脇玄君 贊成

〔其他贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 帯シタ三ツノ希望決議マデモ問題ニナッテ居ルノデアリマスカ、第三ノ希望

ニ付キマシテハ本員ハ反対イタシマシテ、ソレニ賛成者モアルノデアリマス

ルガ、問題ノ範圍ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 希望決議ハ問題ニ致シマセヌ……第二讀會ノ決議

通リデ御異存アリマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル法律案

一讀會ノ續、委員長報告

○議長(公爵徳川家達君) 舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年二月七日

右特別委員長

公爵近衛文麿

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔公爵近衛文麿君演壇ニ登ル〕

○公爵近衛文麿君 委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ一昨  
七日ニ開キマシテ全會一致ヲ以テ本案ヲ可決イタシマシタ、本案ハ甚ダ單簡  
ナモノデゴザイマスルガ、二三質疑應答ノゴザイマシタ點ニ付キマシテ概略  
ヲ申上ゲマス、其一つハ貨幣法ノ施行ノコトデゴザイマシテ、從來我ガ貨幣  
法ハ朝鮮ニ於テ實施セラレテ居リマセズ、舊韓國政府ノ發シマシタル貨幣條  
例ト云フモノガ今モ尙ホ效力ヲ有テ居ルノデゴザイマシテ、之ニ基キマシ

テ發行シマシタル舊韓國ノ貨幣ガ今尙ホ流通イタシテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此度貨幣法ヲ朝鮮ニ實施スルコトニナリマシテ、ソレデ内地ノ法律ヲ殖民地ニ施行シマスル場合ト同ジク、政府ニ於テ近々勅令ヲ以テ此施行細則ヲ定メラレルサウデゴザイマス、サウナリマスルト舊韓國貨幣條例ト云フモノハ當然效力ヲ失フノデアリマシテ、從ツテ舊韓國貨幣ハ流通シナクナリマス、之ヲ處分スル必要ガアルノデゴザイマス、ソレニハ法律ヲ以テスルノガ適當デアルト云フ譯デ此案ヲ提出ニナツタノデゴザイマス、ソレカラ之ニ關聯シマシテ、現在朝鮮ニ於ケル内地ノ通貨ト云フモノハ何ニ基イテ流通イタシテ居リマスルカト申シマスルト、是ハ明治四十年ニ韓國政府ノ勅令ニ韓國貨幣ト品位、種目、形體ヲ同ジウスル貨幣ハ韓國內ニ流通スルト云フ規定ガゴザイマス、此規定ニ基イテ日本貨幣ハ當時ヨリ法貨トシテ朝鮮ニ流通イタシテ居ツタノデゴザイマス、ソレカラ第二ノ點ハ葉錢ノコトデゴザイマス、葉錢ハ當分ノ中通用ヲ認ムルト云フコトガ茲ニゴザイマス、其理由ハ二ツゴザイマシテ、第一ハ此葉錢ハ將來五厘銅貨ト引換ヘルト云フコトニナツテ居リマスガ、現在補助貨ガ少クテ引換ヘルコトガ出來ナイト云フノガーノ理由ト、ソレカラモウ一つハ葉錢ハ小取引、即チ小サイ取引ニ必要デアリマスルカラ、今急ニ之ヲ引上ゲルトキニハ取引上困難ヲ來タス處ガアルト云フノデアリマス、大體是ダケデアリマス、是ダケデ報告ハ終リマス、尙ホ此本案ハ甚ダ簡単デゴザイマスカラ、本員ハ茲ニ讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマス

○江木千之君 讀會省略贊成

○岡喜七郎君 讀會省略贊成

○平山成信君 贊成

○男爵高木兼寛君 贊成

○男爵石黒忠惠君 贊成

○男爵武井守正君 贊成

○男爵山内長人君 贊成

○子爵八條隆正君 贊成

○男爵阪井重季君 贊成

○伯爵奥平昌恭君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 近衛公爵ノ本案ノ讀會省略ヲスルト云フ説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス……本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 意見書案

帝國在郷軍人會國庫補助ノ件

埼玉縣北埼玉郡水深村平民農上雄之助外百二十三名呈出

右ノ請願ハ帝國在郷軍人會ハ一萬有餘ノ分會ヲ有シ會員百五十餘萬ニ達シタルモ同會ノ經費ハ主トシテ正會員タル在郷軍人ノ醵金ニ俟タルヘカラスノ如キハ同會ヲシテ健全ナル發達ヲ遂ケシムル所以ニアラナルヲ以テ事業實施ノ基本金トシテ同會ニ相當ノ金額ヲ國庫ヨリ補助セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

○議長(公爵徳川家達君) 請願副委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會

午後零時十六分散會

大正七年二月九日